

いじめアンケートの結果より

6月は「いじめ対策強化月間」として、様々な取組をしてきました。まず、いじめの早期発見と早期対応のために、6月初めに全校で「いじめアンケート」並びに個人面談や指導を行いましたので、その結果をお知らせします。

◇ いじめの認知状況

4月から6月までに、児童が「いじめられた」と感じたものをすべて件数にあげています。

認知の総件数 …106 件		
	項 目	件数
1	冷やかしかからかい、悪口やおどし文句、嫌なことを言われる。	62
2	仲間はずれ、集団による無視をされる。	20
3	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	16
4	ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	9
5	金品をたかられる。	6
6	金品を隠されたり盗まれたり壊されたり捨てられたりする。	8
7	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	10
8	パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	1
9	その他	21

※ 重複回答を含む

◇ 未解消の状況

上記 106 件のうち、アンケートをとった時点で「嫌な思い」が解消しておらず、学校として指導や支援が必要なものは30件です。また、「嫌な思い」が解消したと回答している 76 件については、いじめ行為が止んでいる期間が3カ月間に達するまで継続して見守りを行っていきます。

アンケート及びアンケート後の取組により、今後も継続的に子ども一人一人に「いじめ」に関わり、いじめの未然防止、早期発見、早期解消に全力で取り組みます。

お子様にご心配なことがありましたら、担任またはいじめ不登校対策担当(山原)までご連絡ください。

白糸中学校区青少年非行防止市民大会 (7/31)

コールクレーンの皆様による素晴らしいコーラスでオープニングを飾っていただきました。白糸中学校区子育て支援連絡協議会山崎憲夫会長の挨拶、舞鶴市健康・子ども部子ども支援課新井秀和課長の祝辞の後、少年の主張大会参加意見発表として舞鶴市PTA連絡協議会会長賞を受賞した白糸中学校3年生朝倉壮哉さんによる「アレルギーへの理解」が発表されました。続いて、日星高等学校教頭補佐三村和人先生の講演「府立海洋高校復活の軌跡～レスリングを通じた生徒指導～」を拝聴しました。最後に「大会宣言」に全会一致で賛同されました。

「大会宣言」

次代を担う青少年の健全育成と非行化防止、並びに少子化による子育て支援の強化・充実は、今や国民的な課題です。また、子どもたちが有意義に過ごすためには、家庭や地域社会の果たす役割がより一層求められています。本日ここに、「白糸中学校区青少年非行防止市民大会」に結集した私たちは、これを契機に、子どもたちの社会参加活動を積極的に推し進め、地域ぐるみの健全育成並びに子育て支援活動を進めていきます。

- 一、 私たちは、地域の子は地域で守り育てます。
- 一、 私たちは、さわやかなあいさつ運動の徹底に努め、大人から、積極的な愛の声かけ運動を展開します。
- 一、 私たちは、子どもと過ごす機会を積極的にもち、明るい家庭づくりに努めます。
- 一、 私たちは、命の尊さをみんなで考え、青少年の健全育成と非行防止に努めます。